



# いり谷コニ通信

第33号  
発行元  
入谷小CS推進  
委員会編集部



ホームページ  
へのQRコード

## 自然の中に、沸き上がる歓声



みんなで生き物調査



三塚様から説明を聞いています



### 入谷のよさを感じて

7月6日(火)午前9時より入谷童子下付近の水田で3年生と4年生が「田んぼの生き物学習会」を行いました。学習会には、「ナマズの学校」代表の三塚牧夫様、「入谷グリーンウエーブ」会長の阿部博之様の協力をいただきながら子供たちが入谷の自然のよさを知る機会となりました。この活動は、JAMやぎの協力により毎年3年生が行っていました。昨年は天候不順と感染症の影響でできなかったことから4年生が1年越しで参加することになりました。当日は、梅雨の時期には、珍しいくらい晴れた天気で、「アカハライモリ」などを発見しては、歓声をあげながら楽しんでいました。活動後の、おにぎりの提供など御協力いただいた童子下地区の皆様方、ありがとうございました。

### どんなところが危ないか…

7月5日(月)2校時に全校児童が参加して、「防犯教室」が開催されました。この教室には、南三陸警察署生活安全課の鈴木皓之署員、入谷駐在所の大坪署員、戸倉駐在所の大久保署員に講師をお願いして来校していただきました。DVDのビデオを参考にして、不審な人物は「どんな場所に多いか」、「どんなふうになつてくるか」などを説明していただきました。不審な人物にあつたら「いかの、お・す・し」の約束を守り、「ついでにいかない」「車に乗らない」「大声を出す」「すぐ逃げる」「大人に知らせる」などの確認ができました。

「いかのおすし」の確認をしましょう

南三陸警察署 鈴木署員



### ダメ、ゼッタイ

7月6日(火)3校時に6年生を対象とした薬物乱用防止教室がありました。外部からの講師として、気仙沼保健所の薬剤師・戸澤亜紀さんが来校しました。日本で薬物と総称される薬は「麻薬と呼ばれる依存性のあるもの」であることや一番出回っている薬物は覚醒剤であることなどの説明を聞きました。子供たちは、講師の方が話す説明や画像を使つてのプレゼンテーションを見て、しっかりメモを取っていました。このような薬物乱用に関する授業は、小学校、中学校、高校で必修となっています。「麻薬の恐ろしさ」を知り、一人一人が薬物は「ダメ、ゼッタイ!」という意識をもってほしいと言える社会をつくっていきましょう。



戸澤さん

### 地域興しと、貴重な出会い

7月2日(金)2校時に6年生が、入谷YES工房を訪ねました。工房で対応いただいた大森さんから、入谷地区で震災以降に「南三陸が元気になるために」と復興に向けて立ち上げた場所であることを聞きました。南三陸杉の間伐材を使用し、地域資源を活用したモノづくりと商品の数々について知ることができました。また、廃校となった校舎をリノベーションし、住民の「雇用」と「交流」の場づくりを目的に誕生した場所であることがわかりました。



大森さん(右)の説明を聞く児童



説明する栗林さん(右)



裏面に「引渡し訓練保護者アンケート」の結果を掲載しました。